

所属	人間社会学部・公共社会学科	職名	教授	氏名	森山 沾一
----	---------------	----	----	----	-------

1. 教員紹介・主な研究分野

これまでの研究は教育・学習・文化と地域社会との関連をマイノリティの視点から行ってきた。

実践的研究に関心を持ち、現在は、「まちづくりと生涯学習・文化」を、田川地区に焦点をあて、地域資源(ひと・文化・自然・歴史)を活かした交流・循環・滞在型まちづくりを総合的に研究している。分野で紹介すれば以下の4つである。

- (1) 田川・筑豊地域のまちづくり・文化発信システムに関する研究
—山本作兵衛コレクションの日本初世界記憶遺産登録にともなう保存・活用—
- (2) 世界遺産をめざす田川活性化一産・官・民・学が協働するエコミューリズム実現—
- (3) 地域教育社会学的方法によるマイノリティ(少数者)と生涯学習に関する研究
- (4) 人権・同和教育の地域的展開と今後の方向性の究明

2. 研究業績

①最近の著書・論文

<著書>

- (1) 「日本初世界記憶遺産・山本作兵衛コレクションと福岡県立大学附属図書館の取り組み」(共著)『看護と情報』2013年 20巻 45～52頁
- (2) 「日本経済史・部落解放史研究者原口颯雄の初志」(単著)(社団法人)福岡県人権研究所 『リベラシオン』2012年9月 147号 141～148頁
- (3) 「日本初世界記憶遺産登録は何をもたらすのか」(単著)(社団法人)福岡県人権研究所 『リベラシオン』2012年5月 146号 2～14頁
- (4) 『熱と光を願求して—解放教育学への節目に立って—』(単著)城島印刷 2012年1月 A5判 383頁
- (5) 『社会教育における人権教育の研究』(単著) 福村出版 2011年2月(科研費学術出版助成図書) A5判 318頁
- (6) 内閣府報告書『世界遺産をめざす旧産炭地・田川再生事業一産・官・民・学が協働するエコツアーリズムの実現—』 編著(プロジェクト代表) 2010年3月 A4判 282頁

②その他最近の業績

<その他の論文・編著など>

- (1) 『山本作兵衛日記・資料集』第12巻(共同)(研究叢書52巻予定) A4判 300頁予定 福岡県立大学付属研究所生涯福祉研究センター発行 2013年3月
- (2) 『山本作兵衛日記・資料集』第11巻(共同)(研究叢書50巻) A4判 360頁 福岡県立大学付属研究所生涯福祉研究センター発行 2012年3月
- (3) 『山本作兵衛日記・資料集』第10巻(共同)(研究叢書48巻予定) A4判 478頁 福岡県立大学付属研究所生涯福祉研究センター発行 2011年3月
- (4) 「筑豊で育った山本作兵衛さんと私—永末十四雄・上野英信さんの願いを通して」『山本作兵衛さんをく読む>会10年のあゆみ』 2012年3月 229～236頁
- (5) 「世界記憶遺産(Memory of the World)の登録:田川から世界への発信」『開学20周年記念誌 ひらく夢 筑豊に生まれて』 2012年3月 87～90頁
- (6) 「最初の国際交流校—南京師範大学」(共著)『開学20周年記念誌 ひらく夢 筑豊に生まれて』 2012年3月 121～122頁
- (7) 『部落解放史の最前線—啓発・教育の現場と研究をつなぐ—』(社団法人)福岡県人権研究所 2013年 2月
- (8) (社団法人)福岡県人権研究所が刊行している季刊誌『リベラシオン』の発行責任者として、11冊の書籍を出版

<学会発表等>

- (1) 「グローバル時代における<ローカルな知>—山本作兵衛の文化を<読む> (6) —」 (共同発表) 第64回九州教育学会 大分大学 2012年11月
- (2) 「大学における地域貢献活動について—福岡県立大学の場合—」 旭川大学地域研究所 2012年10月
- (3) 「日本初世界記憶遺産山本作兵衛コレクションの記録画・日記について」 日本芸術色彩学会第34回特別招待発表 九州産業大学 2012年9月
- (4) 「グローバル時代における<ローカルな知>—山本作兵衛の文化を<読む> (5) —」 (共同発表) 第63回九州教育学会 宮崎大学 2011年12月
- (5) 「グローバル時代のローカルな知の普遍性—日本初世界記憶遺産登録の意義—」 第58回日本社会教育学会 日本女子大学 2012年9月
- (6) 「グローバル時代における<ローカルな知>—山本作兵衛の文化を<読む> (4) —」 (共同発表) 第62回九州教育学会 九州大学 2010年12月

<審議会・委員 答申等>

- (1) 福岡県福智町まちづくり委員会 (委員長) 「実施計画答申書」 2012年12月
- (2) 「田川市特別職報酬等審議会答申」 田川市特別職報酬等審議会 (座長) 2011年2月
- (3) 「みやこ町男女共同参画推進条例」 福岡県みやこ町男女共同参画推進条例策定委員会 (委員長) 2010年11月

<インタビュー・新聞記事>

山本作兵衛コレクション日本初世界記憶遺産登録申請者として各種マスメディアに
2011年5月26日以降、たびたび登場。

主なものは2012年度 「FBS 福岡県文化賞 (社会部門) 受賞トーク」 (2012年12月1日)。
2011年度 「NHK 視点・論点 6月9日」 「NHK フロンティア 7月15日」 「ラジオニッポン・菅原文太との対談 9月16日」 「RKB 林田スマのハートフルトーク 2012年元旦」 など 新聞報道は筑豊版を中心に掲載される。
「アンチ東京」 (ブルータス 2010年3月15日号)

<書評・評論>

「生涯学習と自己形成」 (宮坂広作著 季刊『教育と文化』2011年 春
国民教育文化総合研究所)

③過去の主要業績

- (1) 『生涯学習時代の人権』 (共編著) 明石書店、1995年 B5判 461頁
- (2) 『松本治一郎』 (共編著) 福岡県人権研究所松本治一郎プロジェクト執筆
西日本新聞社 2003年11月 B5判 290頁
- (3) 『「改革・開放」 下中国教育の動態—江蘇省の場合を中心に—』 (共著) 東信堂
2005年12月 A5判 459頁

3. 外部研究資金

平成24年度文部科学省文化庁「山本作兵衛コレクション保存・活用についての調査研究」(2000万円)の共同研究メンバー

4. 受賞

「第20回 福岡県文化賞(社会部門)」(副賞100万円) 2012年12月1日 福岡県立大学附属研究所生涯福祉研究センター・山本作兵衛さんを<読む>会 顧問として (トークショウ出演)

5. 所属学会

日本社会教育学会、日本教育学会、九州教育学会など

6. 担当授業科目

(学 部) 人権論・2単位・1年・前期、社会教育特論A・2単位・2年・後期、教育社会学・2単位・3年・前期 社会貢献論・2単位・1年・前期(オムニバス方式コーディネート) 社会貢献論演習・2単位・1年・後期(オムニバス方式担当)

(大学院) 地域教育支援研究Ⅰ・2単位・1～2年・前期、地域教育支援研究Ⅱ(演習)・2単位・1～2年・後期、地域教育支援特別研究・2単位・1～2年・通年、フィールドワーク・2単位・1年・後期

7. 社会貢献活動

全国教育研究者ネット会議世話人、(社団法人)福岡県人権研究所理事長、福岡県アンビシャス運動本部推進委員、福岡県同和問題をはじめとする人権問題に係る啓発・研修講師団世話人、福岡市人権問題講師陣委員、花と緑のまち新田川創生プラン推進委員会座長、田川広域観光協会副理事長、田川市世界記憶遺産推進委員会委員など

8. 学外講義・講演

福岡県内、大分県、佐賀県、長崎県、鹿児島県、東京都、北海道などで世界記憶遺産山本作兵衛コレクション、教育、人権問題の講演・シンポジウム・パネルディスカッション

9. 附属研究所の活動等

県立大学附属研究所所長として調整部会座長

県立大学附属研究所生涯福祉研究センター兼任研究員

生涯福祉研究センタープロジェクト「筑豊文化発信システムに関する研究」メンバー

山本作兵衛さんを<読む>会 会員・顧問